

平成 2 2 年 度

事 業 概 要

平成 2 2 年 5 月

国土交通省 中部地方整備局
北 勢 国 道 事 務 所

ミッション（使命）

三重県北勢・
伊賀地域の
安全で円滑な
道路交通を
目指して

北勢国道事務所は、北勢・伊賀地域の道路整備を通して、道路交通渋滞の緩和や道路交通事故の削減等を図り、「活力ある社会」「安全・安心」「生活環境の創造」に貢献します。

道路事業の目標

三重県の北勢地域、伊賀地域は、中部圏と関西圏を結ぶ交通の要となる地域で、産業や観光等が活発な三重県全域を牽引する元気な地域ですが、慢性的な道路交通渋滞や交通事故が多発する地域でもあり、暮らしや経済等に大きな影響を与えています。

この為、それらの解消と更なる発展のために次の三つを目標に定め、この実現に努めます。これにより、三重県民の元気づくり『県民しあわせプラン』を支援します。

暮らしや産業を支える活力ある社会の形成

都市部の集中する通勤交通や沿岸部の物流交通等により慢性的な道路交通渋滞が発生し、暮らしや経済に大きな影響を与えています。

活力ある社会の実現に向け、道路ネットワークの構築を効率的に進めます。

- 広域的道路ネットワークの形成
 - ・ 国道475号東海環状自動車道：北勢地域の高速アクセスの向上
- 広域的ネットワークを支援し、都市の骨格となる道づくり
 - ・ 国道1号北勢バイパス：四日市都市圏の渋滞緩和
 - ・ 国道1号関バイパス：亀山IC周辺の渋滞緩和
 - ・ 国道1号桑名東部拡幅：伊勢大橋の架け替えと渋滞緩和
 - ・ 国道258号大桑道路：桑名・大垣間の渋滞緩和

安全・安心できる暮らしの確保

国道25号（名阪国道）は、近年の交通量の増加や高速化・大型化による重大事故を含めた交通事故が多く発生しており、これらの削減が緊急の課題となっています。また、東海地震、東南海・南海地震が懸念され、災害時のライフラインや緊急輸送路としての機能確保が求められています。

安全・安心な暮らしの実現に向け、交通事故対策や道路施設の耐震強化、防災対策を進めます。

- 安心・安全な道路づくり
 - ・ 国道25号名阪国道：亀山・伊賀地域の道路交通の安全・安心の向上

質の高い生活環境の創造への支援

歩行者、自転車などの幅広い道路利用者への道路空間を利用した各種サービスの提供及び沿道環境の保全等により、質の高い生活空間の創造を支援します。

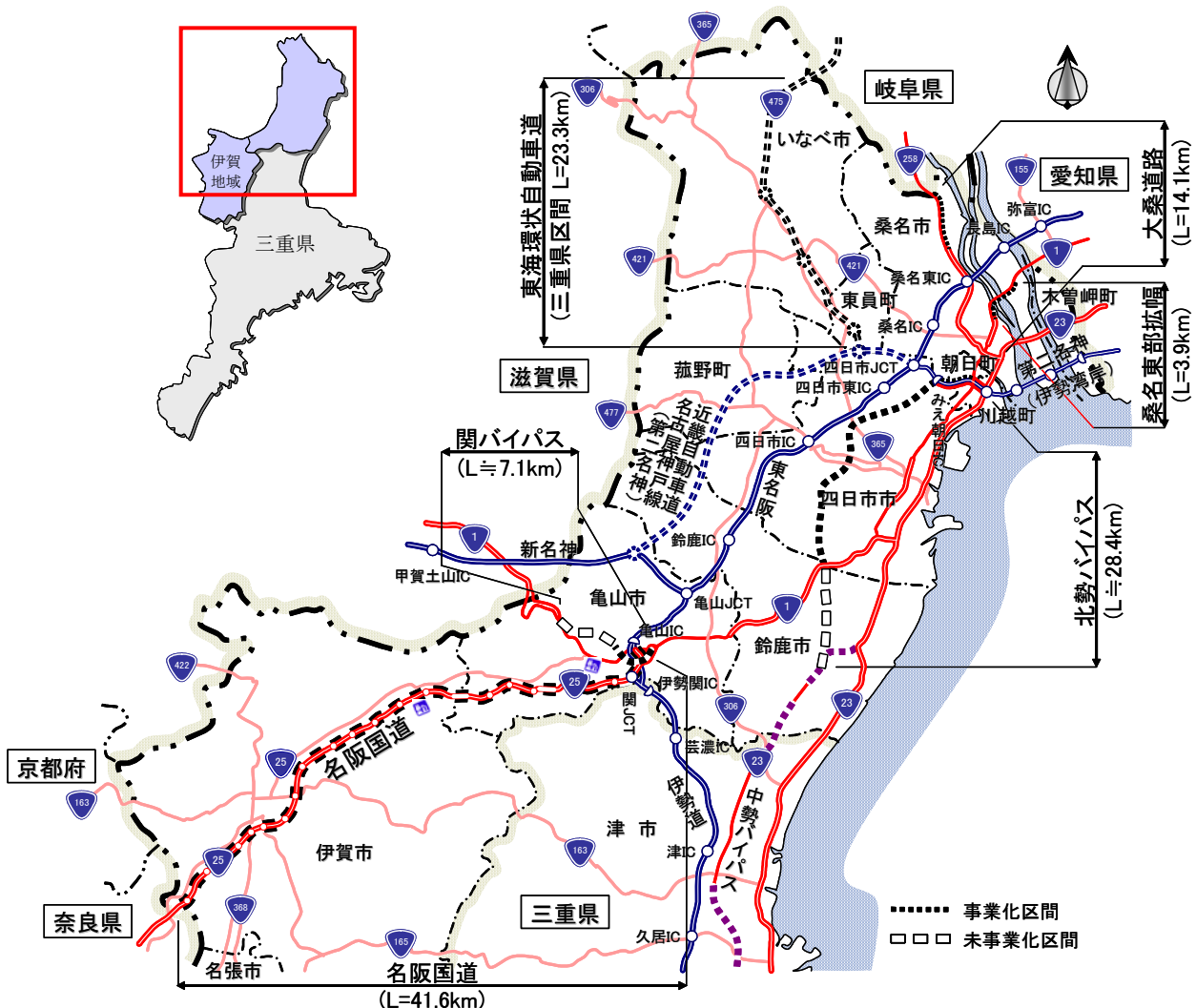
1. 北勢国道事務所の所管

北勢国道事務所は、国道1号、25号、258号、475号の4路線、約118kmの整備事業を担当するとともに、国道25号名阪国道（延長41.6km）の維持管理を担当しています。

広域的なネットワークの形成を図る国道1号北勢バイパスと関バイパスの整備、国道1号桑名東部拡幅、国道258号大桑道路の現道拡幅事業及び全国的な交流ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道475号東海環状自動車道（三重・岐阜県境～四日市市）の整備・推進を行っています。

交通事故や老朽化する道路施設に対応するため、国道25号名阪国道（三重県区間）の交通安全対策の整備方針に基づいた、インター改良・路肩拡幅等の交通安全対策及び橋の耐震補強等を推進するとともに日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。

○ 事業箇所



2. 北勢国道事務所の事業費

平成 22 年度の総事業費は、 4, 1 4 9 百万円であり、その内訳は下表のとおりです。

○ 平成 2 2 年度事業費

費 目	事 業 費 (百万円)	備 考
交 通 円 滑 化 事 業 費	1, 026	
地 域 連 携 推 進 事 業 費	170	
交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業 費	360	
交通事故重点対策事業費	1, 709	
特 定 の 事 業	884	
合 計	4, 149	

※業務取扱費を除く

3. 北勢国道事務所の事業内容

○ 平成22年度のポイント

北勢バイパス : 市^{おおやちとみた}大矢知富田線～市^{かみえびもちふく}上海老茂福線間延長約1.0kmの暫定供用及び市^{たるさか}垂坂1号線～国道477号バイパス間の工事及び用地取得等を推進します。

関バイパス : 市^{かめやま}亀山地区改良工事を推進します。

桑名東部拡幅 : 市^{いせおおはし}伊勢大橋架替関連区間の用地取得を継続するとともに、関係機関との協議を進めます。

名阪国道 : 交通安全対策を重点におき、IC改良工事及び路肩拡幅工事を推進します。この他、環境対策工事を推進するとともに橋梁の耐震補強・補修を推進します。

大桑道路 : 市^{しものしろ}下野代地区において歩道工事を推進します。

東海環状自動車道 : 市^{とういん}東員IC（仮称）～市^{よっかいちきた}四日市北JCT（仮称）間の用地取得及び工事を推進し、市^{ほくせい}北勢IC（仮称）～市^{とういん}東員IC（仮称）間の調査設計、市^{ほくせい}境～市^{ほくせい}北勢IC（仮称）間のトンネル地質調査を進めます。

(1) 北勢国道事務所事業箇所

路線名	箇所名	事業延長 (km)	場 所
1号	市 ^{ほくせい} 北勢バイパス	21.0	市 ^{みえぐんかわごえちよう} 三重郡川越町～市 ^{よっかいちしうねめ} 四日市市采女
	市 ^{せき} 関バイパス	2.5	市 ^{かめやましたいこうじちよう} 亀山市太岡寺町～市 ^{せきちようわしやま} 関町鷺山
	市 ^{くわなとうぶかくふく} 桑名東部拡幅	3.9	市 ^{くわなしながしまちようまたぎ} 桑名市長島町又木～市 ^{きたはまちよう} 北浜町
25号	市 ^{めいはん} 名阪国道	41.6	市 ^{かめやましたいこうじちよう} 亀山市太岡寺町～三重・奈良県境
258号	市 ^{だいそう} 大桑道路	14.1	市 ^{くわなしたどちようゆい} 桑名市多度町柚井～市 ^{じょうなんいずみ} 城南和泉
475号	市 ^{とうかい} 東海環状自動車道 (市 ^{ほくせい} 境～市 ^{ほくせい} 北勢)	9.0	岐阜・三重県境～市 ^{ほくせいちよう} いなべ市北勢町
	市 ^{とうかい} 東海環状自動車道 (市 ^{ほくせい} 北勢～市 ^{よっかいち} 四日市)	14.4	市 ^{ほくせいちよう} いなべ市北勢町～市 ^{よっかいちしきたやまちよう} 四日市市北山町

国道1号北勢バイパス



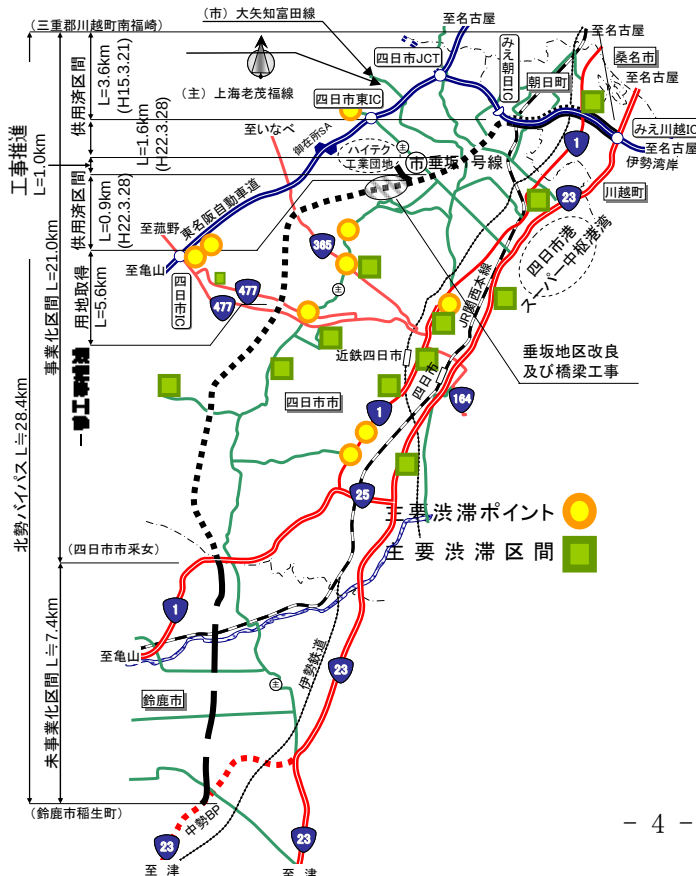
1. 目的

北勢バイパスは、三重県北勢地域の中心都市である四日市市の内陸部を環状に連絡し、四日市市内に集中する交通を適切に分散導入し、国道1号及び23号等の渋滞緩和及び道路交通の安全確保を図り、更に地域発展の核となるプロジェクトを支援する、北勢圏域の形成に必要な道路です。

2. 概要

北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号名四国道）～鈴鹿市稲生町（国道23号中勢バイパス）迄の延長約28kmの幹線道路で、現在、新名神高速道路（伊勢湾岸自動車道）と重複する区間（延長3.6km）、みえ朝日IC～市大矢知富田線の区間（延長1.6km）及び市上海老茂福線～市垂坂1号線（延長0.9km）までを供用しました。

本年度は、市大矢知富田線～市上海老茂福線間において暫定供用を図ります。また、市垂坂1号線～国道477号バイパス間の工事及び用地取得等を進めます。



・主要渋滞ポイントの定義

DID（人口集中地区）内

… 渋滞長 1000m 以上 又は 通過時間 10 分以上

DID 外

… 渋滞長 500m 以上 又は 通過時間 5 分以上

・主要渋滞区間の定義

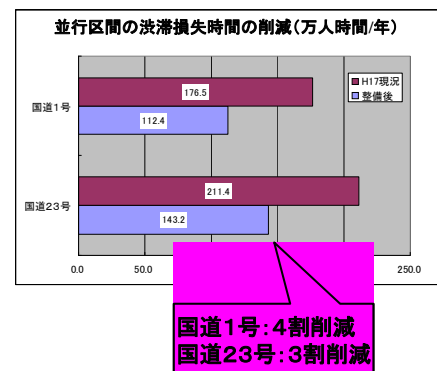
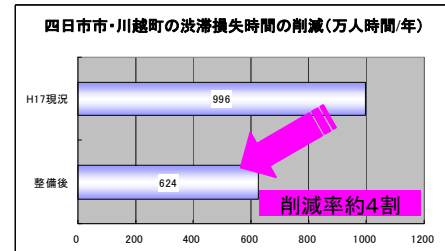
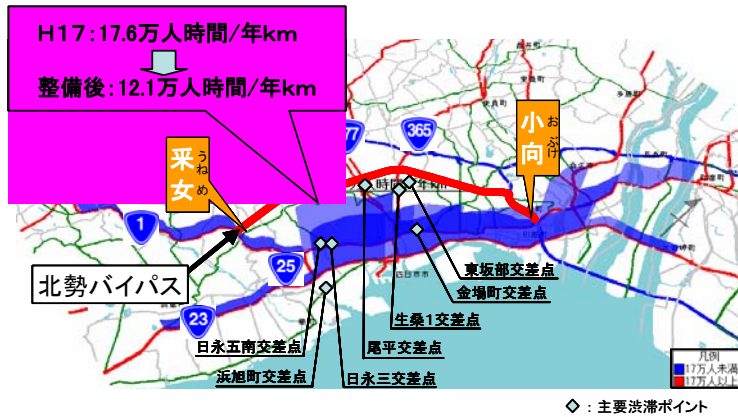
渋滞損失時間^{※1}が中部地整管内上位2割区間の優先順位の高い区間（H16実績）

※1 渋滞損失時間…渋滞がない場合と比較して渋滞の発生により余分に要する時間

幹線道路の交通混雑緩和

・北勢バイパスの整備により、分散機能が發揮され並行する1号、23号の主要渋滞ポイントを含む区間の渋滞損失時間を削減します。

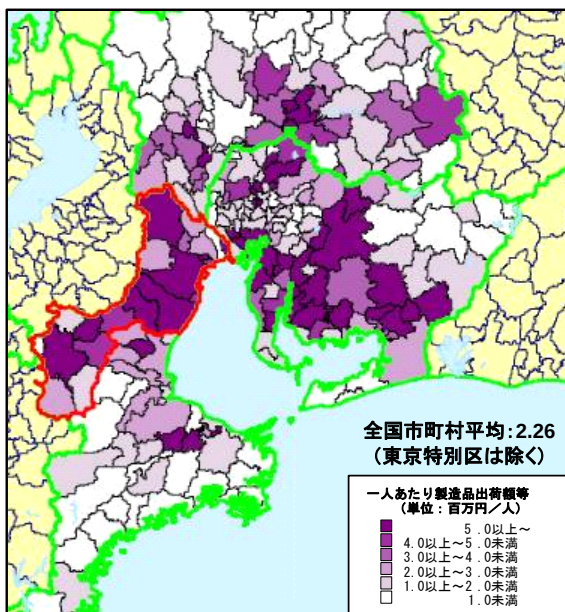
＜幹線道路の交通混雑緩和・解消＞



地域開発の発展をうながす道路

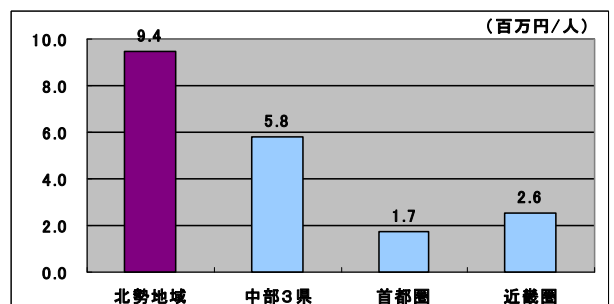
・三重県において、北勢地域は特に生産力が高く、県内製造品出荷額70%超を占める県経済を支えるエリアであり、多くの工業団地が立地しています。

＜北勢地域の経済状況＞



出典: H15工業統計(経済産業省)、
H15住民基本台帳人口要覧(総務省)を基に作成

中部において特に生産力の高いエリア



さらに

三重県内の製造品出荷額の67%を占める

県経済を支えるエリア

■人口	: 82万人	県全体の44%
■年間製造品出荷額等	: 7.7兆円	県全体の67%
■年間小売業販売額	: 8,800億円	県全体の45%
■年間観光入込み客数	: 1,300万人	県全体の39%

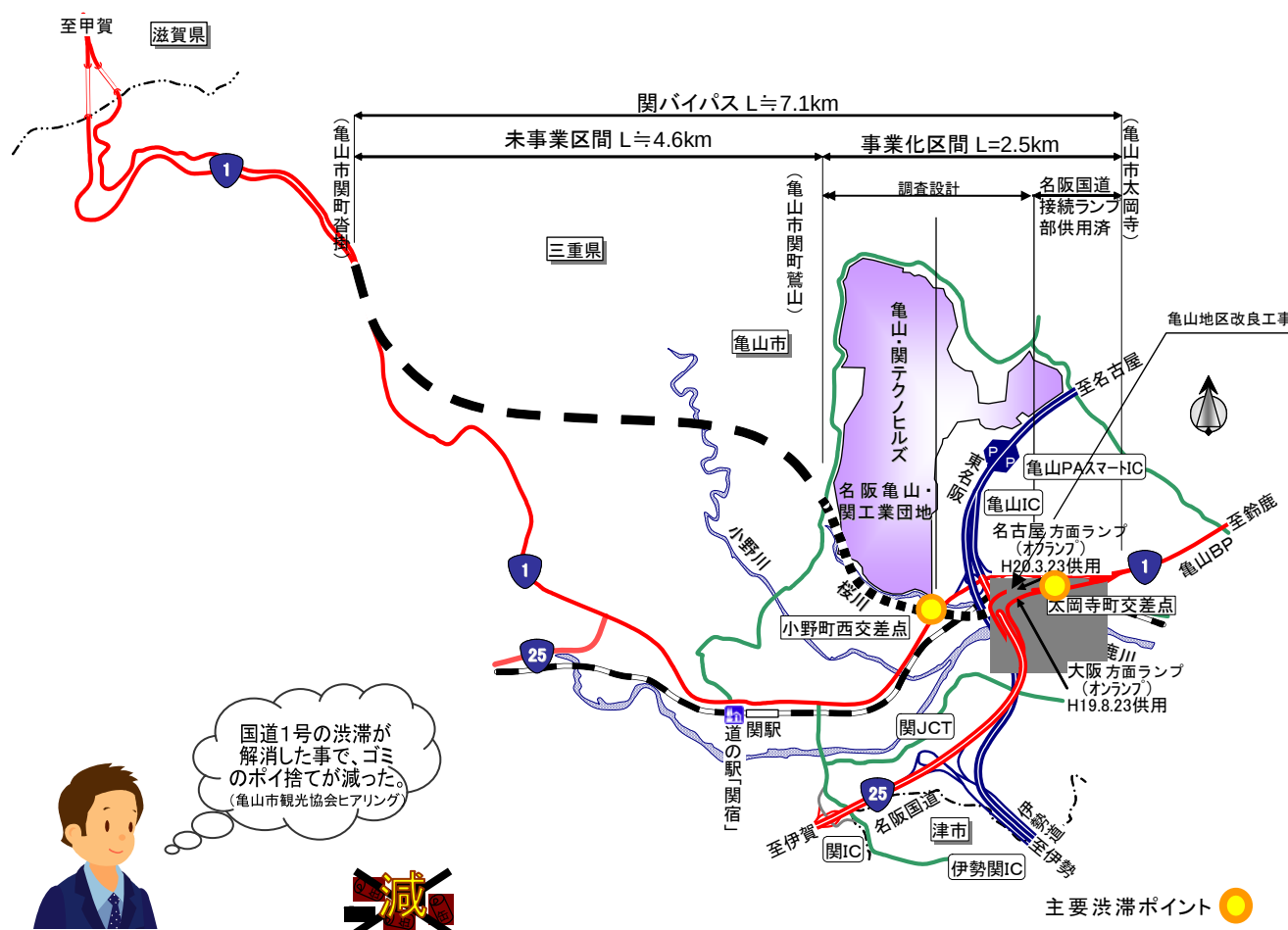
出典: 工業統計、商業統計、住民基本台帳

三重県レクリエーション統計を基に作成

1. 目的

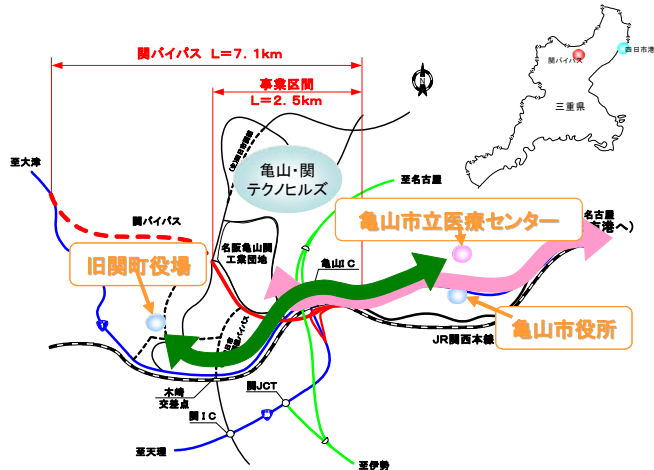
2. 概要

本年度は、かめやま 亀山地区改良工事を推進します。

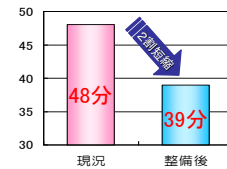


地域経済の支援

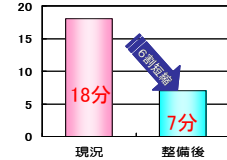
- ・関バイパスの全線開通により、工業団地への立地促進、地域内のアクセス性向上等地域経済の更なる発展に寄与する。
- ・工業団地「テクノヒルズ」から四日市港へのアクセス時間が約2割程度短縮されるだけでなく、高次医療施設（亀山市立医療センター）への所要時間が約6割短縮されます。



〈工業団地と四日市港との時間短縮〉

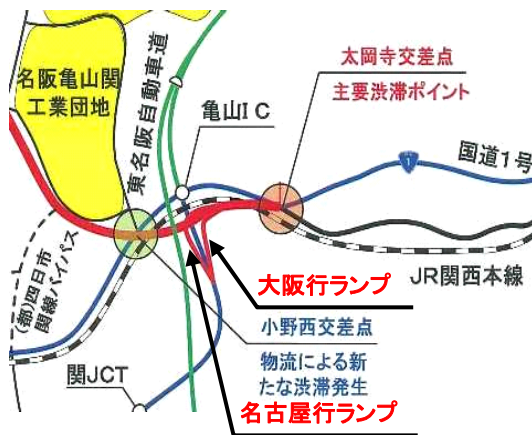


〈関町中心部から医療センター（2次救急施設）へのアクセス時間の変化〉
(分)

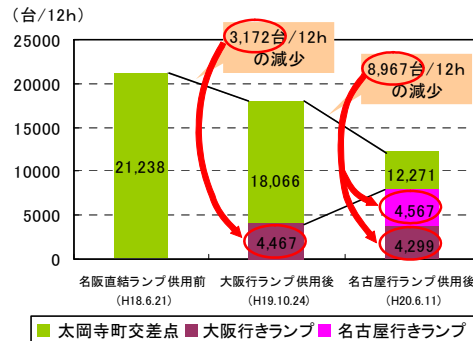


バイパス整備により地域環境が良好に

- ・ランプ開通に伴い主要渋滞ポイントである太岡寺交差点の渋滞を緩和しました。

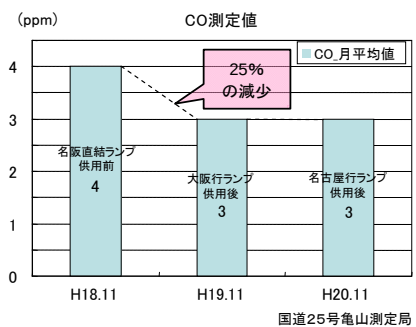
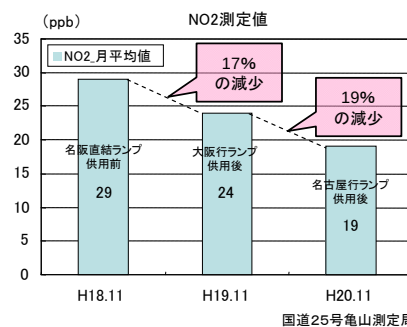
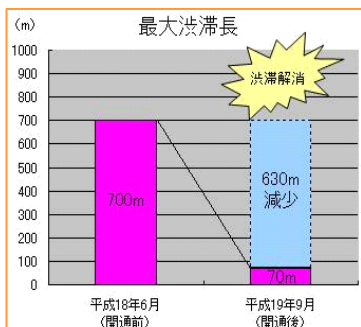


太岡寺町交差点交通量



太岡寺町交差点の交通量が
大阪行き・名古屋行きランプに転換！

＜大阪行ランプ開通前後の太岡寺交差点＞



国道1号桑名東部拡幅



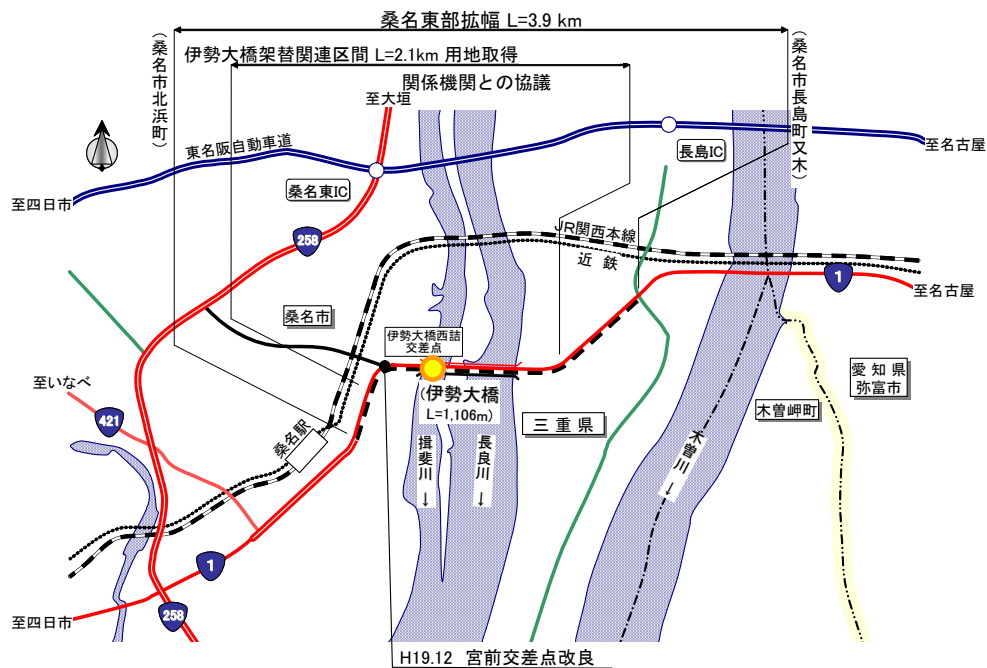
1. 目的

桑名東部拡幅は、老朽化の著しい伊勢大橋（昭和9年架橋）の架け替え及び現道の渋滞緩和、交通安全確保を目的に計画された、現道拡幅事業です。

2. 概要

桑名東部拡幅は、桑名市長島町又木～同市北浜町間の延長3.9kmの現道拡幅事業で、現在、伊勢大橋架替関連区間の延長2.1kmの事業を推進しています。

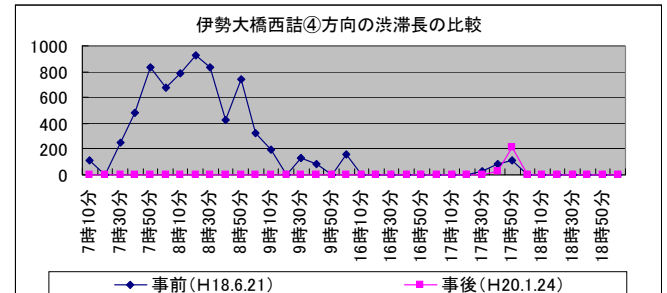
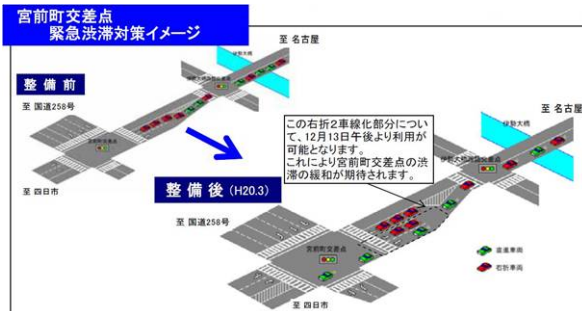
本年度は、伊勢大橋架替関連区間で用地取得を継続するとともに、関係機関との協議を進めます。



主要渋滞ポイント

幹線道路の交通混雑緩和・解消

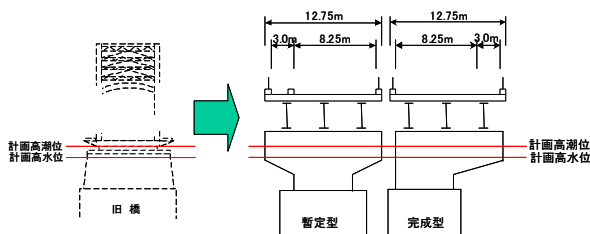
平成19年12月の宮前交差点改良が供用し、主要渋滞ポイントである西詰交差点の渋滞を緩和しました。



安全な生活環境の確保

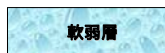
- 伊勢大橋（新橋）は、現在の橋に比べ耐震性、及び治水安全度が向上するため、道路の防災対策及び危機管理の充実に繋がります。

<道路の防災対策・危機管理の充実>

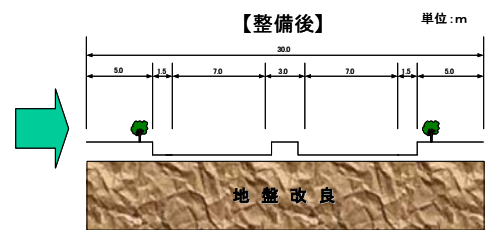


- 伊勢大橋の架替では橋梁嵩上げと築堤により、治水安全度が向上
- 大規模な地震にも対応できる耐震性に優れた橋梁
- 地震時等の避難経路や緊急輸送道路

【整備前】



【整備後】



- 現道は、軟弱地盤であるが本事業において、液状化対策を実施し、地震時等の避難経路や第一次緊急輸送道路の形成を確保

伊勢大橋の老朽化対策

- 伊勢大橋は、昭和9年度（73年経過）に竣工し、長年の雨水・塩害影響により老朽化が進んでいます。
- B活荷重（※1）対応がなされていないため、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車（※2）が通行できない状態にあり、早期の架け替えが必要です。

<中堤上流からの全景>



※1 B活荷重とは

道路橋示方書で定められた自動車荷重であり、車両総重量25tの大型トラックを想定。この荷重が適用される道路は、大型車交通量の多い路線を対象としている。

○対象道路

- 高速自動車国道、国道、都道府県道
- 上記道路と基幹的な道路を形成する幹線市町村道

※2 ISO規格背高海上コンテナ輸送車とは

ISO(国際標準化機構)規格を満たす貨物用コンテナのうち、長さが40ft(12.192m)のものでさらに高さが約2.9mのものを指す。



コンテナ



トレーラー

トレーラー諸元

全長	: 12,525mm
全幅	: 2,490mm
全高	: 1,600mm
最大積載量	: 30,480kg
車両重量	: 4,190kg
第5輪荷重	: 10,960kg



国道25号名阪国道

1. 目的

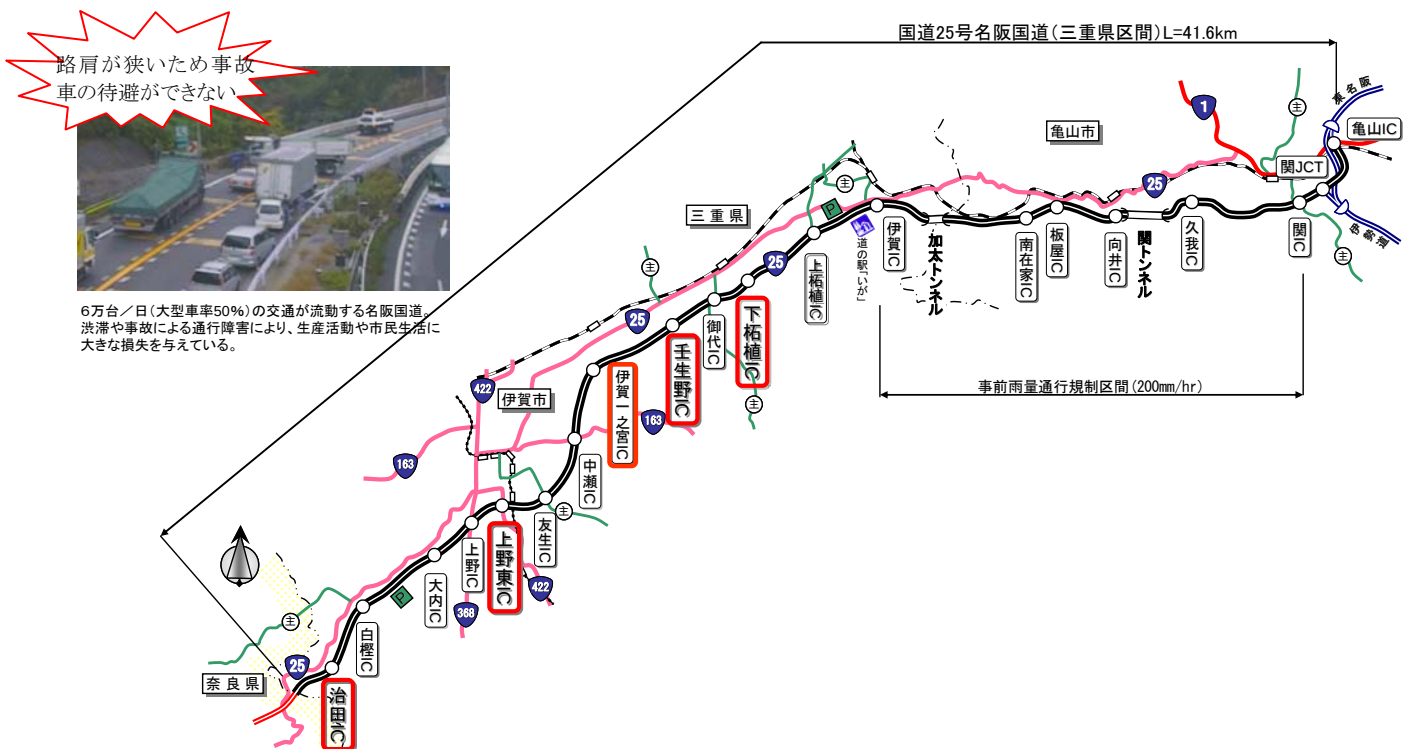
名阪国道は、東名阪自動車道、西名阪自動車道並びに伊勢自動車道と直結し、さらに名神高速道路及び新名神高速道路と一体となって、中部圏と関西圏を結ぶ重要な幹線道路であると共に、伊賀地域の生活に欠かせない道路です。

2. 概要

国道25号名阪国道は、三重県亀山市太岡寺町～奈良県天理市櫛本町迄の延長約73km(三重県内延長41.6km)の一般国道の自動車専用道路として建設され、昭和40年12月に暫定2車線で開通し、昭和55年3月には全線4車線で完成しました。現在は、増加する交通事故等の課題に対処するため、インターチェンジ改良や路肩拡幅等の道路構造の改善を進めるとともに、事前雨量通行規制区間の解除を目指した防災対策や耐震補強及び橋梁の長寿命化を進めています。

本年度は、地域との懇談会等による交通安全対策の整備方針に基づき、交通安全対策に重点をおいて、ハード対策やソフト対策の調査・設計(伊賀一之宮IC)、インター改良工事の推進(壬生野IC、上野東IC、下柘植IC、治田IC)、路肩拡幅及び非常駐車帯整備のほか環境対策工事等を推進します。

あわせて積極的な情報提供とその高度化を図るため、道路情報板の更新並びに亀山大橋等の耐震補強、第3越川橋等の橋梁補修を行います。また、通行障害情報提供等の充実を図ります。



名阪国道の安全安心走行を考える懇談会を実施

・道路利用者の視点に立った事故危険箇所の抽出等のため、平成 18 年度から地域住民や道路利用者、関係機関が一体となった懇談会を開催し、名阪道路の安全安心走行管理に向けた対策案の立案と対策後のフォローアップを行っている。

＜ソフト対策＞

- ・地域ユーザー、輸送事業者等の自主的な意識啓発
- ・高速隊による取締り強化
- ・積極的な道路情報の提供

＜平成 21 年度懇談会での主な意見＞

- ・狭い路肩に駐停車している車両に追突してしまう危険性があるため、路肩を広くしてほしい。
- ・トンネルを出てすぐの急カーブでは、事故が多いので、注意喚起の看板の設置などによる注意を促してほしい。
- ・急カーブで路肩には自発光式で視線誘導する対策がされているが、走行車線と追越車線の間の区画線上にも視線誘導する対策をしてほしい。

名阪国道の安全安心走行を考える懇談会

◆関係組織が一体となって検討し、安全対策の整備方針を決め対策を決めていきます。

○懇談メンバー

- ・トラック協会
- ・女性会議
- ・商工会議所
- ・自治会長
- ・観光協会
- ・三重県
- ・警察
- ・国土交通省 等

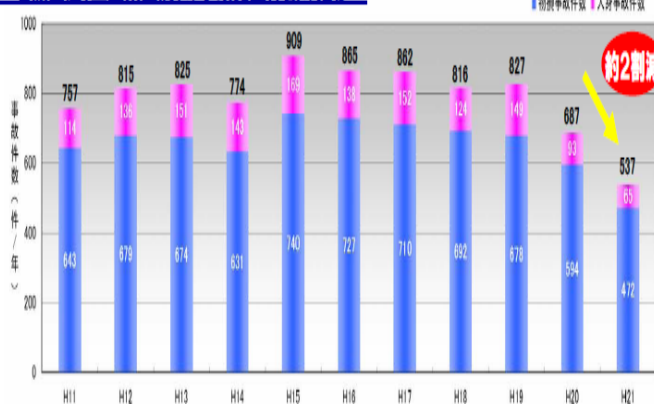
○懇談会写真



事故対策の効果

平成 21 年の事故件数は 537 件／年で過去 10 年で最も少ない状況。

～名阪国道(三重県区間)の事故発生件数の推移～



維持、修繕

中京圏と阪神圏を結ぶ緊急輸送路である名阪国道（三重県区間）の安全で信頼性の高い道路を確保するために、日々の道路パトロール、冬季の凍結防止作業、路面・道路施設の保守・修繕等の維持・修繕事業、及び道路管理業務を実施しています。

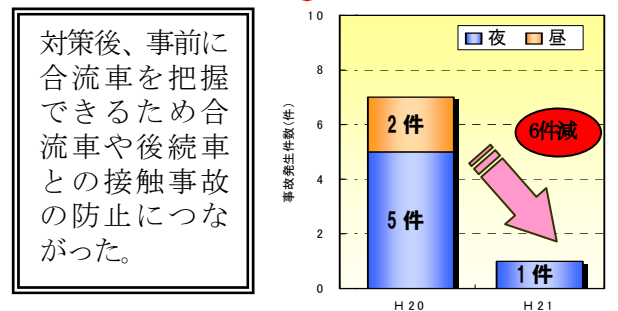
道路管理

- ・高度道路情報システムの活用を図り、迅速かつ正確な情報提供、道路交通の円滑化を推進
- ・道路空間を利用した光ファイバーネットワークシステムの高度化
- ・降雪時の路面状況や、工事規制による渋滞状況を 24 時間リアルタイムで提供
- ・風水害・地震・雪害時における道路通行規制の実施
- ・特殊車両の通行許可、道路占用の許可等の実施

■対策例 ^{しもつげ}下柘植IC（IC合流部の情報表示板設置）



結果



橋梁の長寿命化とは

今後老朽化する橋梁の増大に対応するため、損傷が軽微なうちに修繕し、現在の橋梁をより長く使う（橋梁の長寿命化）とともに、橋梁の修繕及び架替えに係る全体の費用縮減を図ります。



国道258号大桑道路

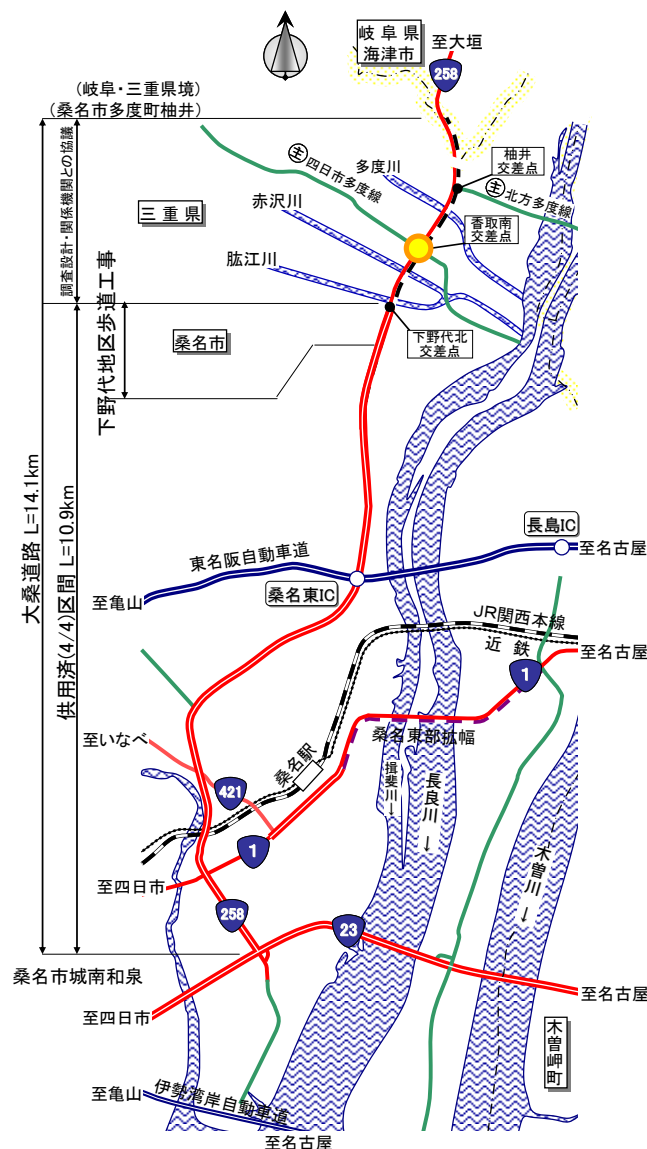
1. 目的

大桑道路は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間の円滑な交通流確保及び地域開発支援を目的とした道路です。

2. 概要

大桑道路は、延長41.6km（三重県内延長14.1km）の幹線道路で、昭和50年度までに全線暫定2車線で開通し、このうち三重県区間の桑名市多度町下野代～同市城南和泉迄の延長10.9kmの4車線が完成しています。現在は、交通量の増大、車両の大型化に伴い、順次4車線化を進めています。

本年度は、下野代地区において歩道工事を推進します。



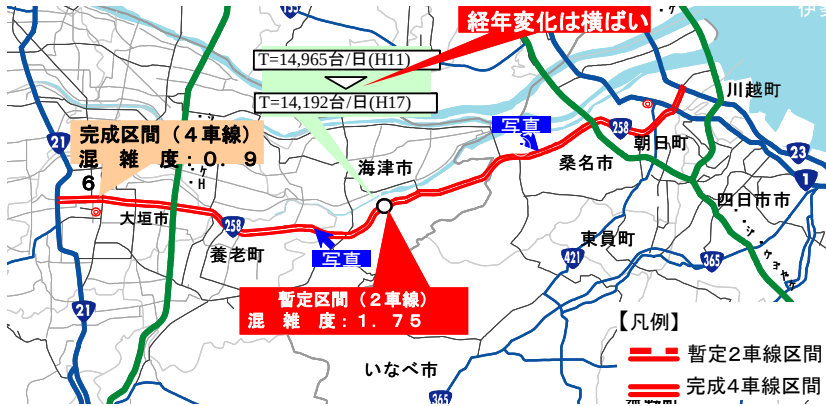
主要渋滞ポイント



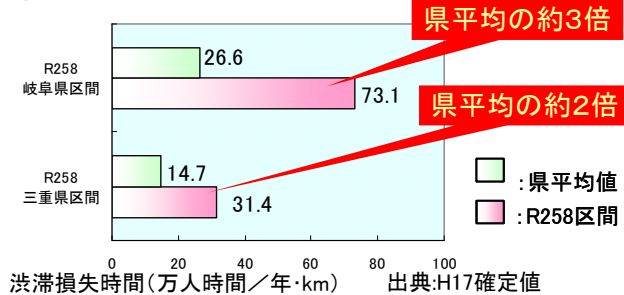
地域間の交流、連携を強化

■現況の交通状況

- ・海津市内暫定区間の日交通量は14,000台/日に及び、交通容量不足により、慢性的な交通渋滞が発生しています。(混雑度1.75)



＜渋滞損失時間(万人時間/年・km)＞



＜岐阜県養老町根古屋(写真①)＞



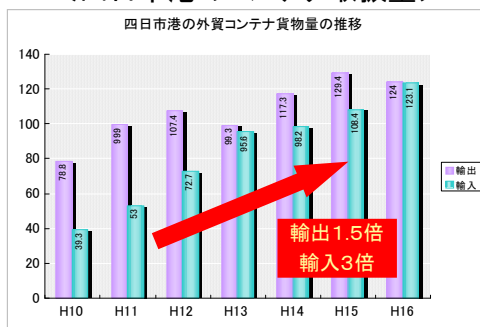
＜三重県多度町(写真②)＞



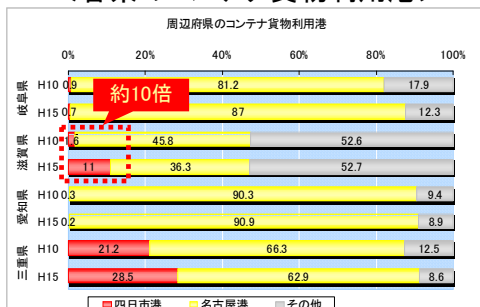
四日市港との連携確保

- 四日市港(スーパー中枢港湾)のコンテナ取扱量は年々増加し、特に滋賀県関連貨物利用は約10倍に成長しています。大桑道路は、滋賀方面等との輸送ルートとして位置づけられ、重要度が增大しています。

＜四日市港のコンテナ取扱量＞

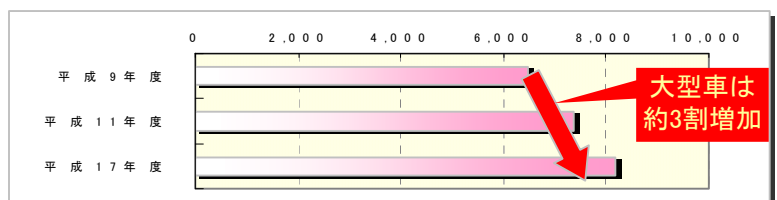
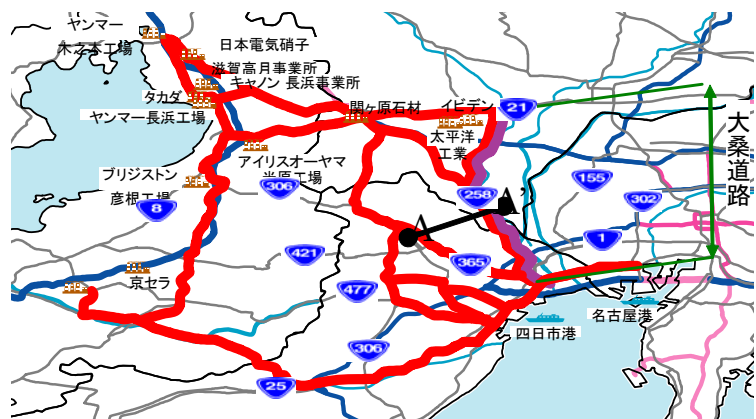


＜各県のコンテナ貨物利用港＞



出典:四日市港管理組合資料

＜四日市港から滋賀方面へのコンテナの輸送ルート＞





国道475号東海環状自動車道

1. 目的

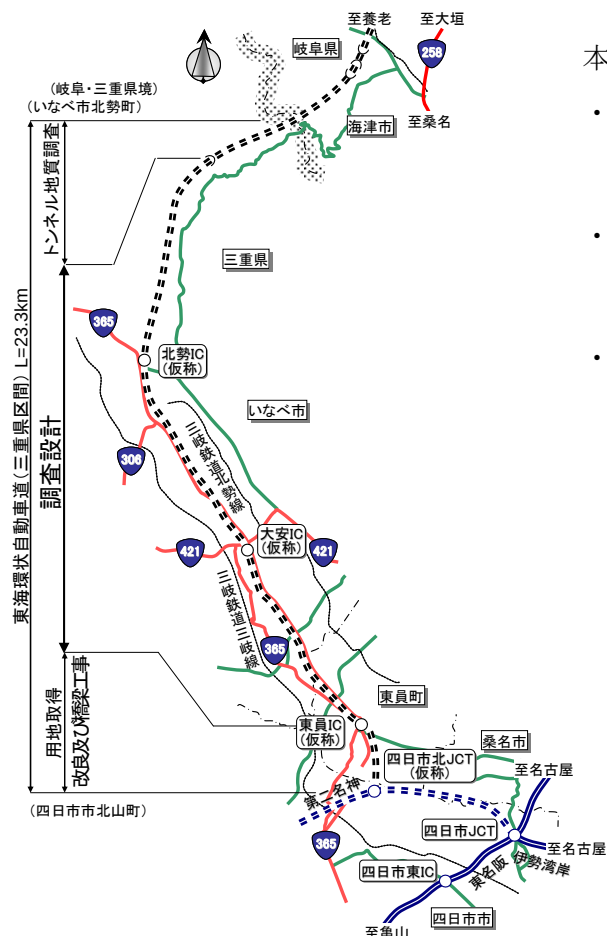
とうかい

東海環状自動車道は、名古屋市を中心に半径30～40km圏に位置する豊田、瀬戸、岐阜、四日市等の諸都市を相互に連絡し、新東名・新名神高速道路や伊勢湾岸自動車道等と一体となって中部圏の交流ネットワークを形成し、地域の秩序ある発展を図る基盤として、重要な役割を果たす環状道路です。

2. 概要

とうかい

東海環状自動車道は、延長約160km（三重県内延長23.3km）の一般国道の自動車専用道路で、平成17年3月に豊田東JCT～美濃関JCT間の延長約73kmが供用しました。三重県内は、平成2年度に北勢IC（いなべ市北勢町）～新名神高速道路四日市北JCT（四日市市北山町）迄の延長14.4kmを事業着手し、平成19年度に岐阜・三重県境～北勢IC（いなべ市北勢町）迄の延長8.9kmを事業着手しました。



本年度は、以下の事業を推進します。

とういん

よっかいち

- ・東員IC～四日市北JCT間については、用地取得、改良及び橋梁工事を推進します。

ほくせい

- ・北勢IC～東員IC間については、調査設計を推進します。

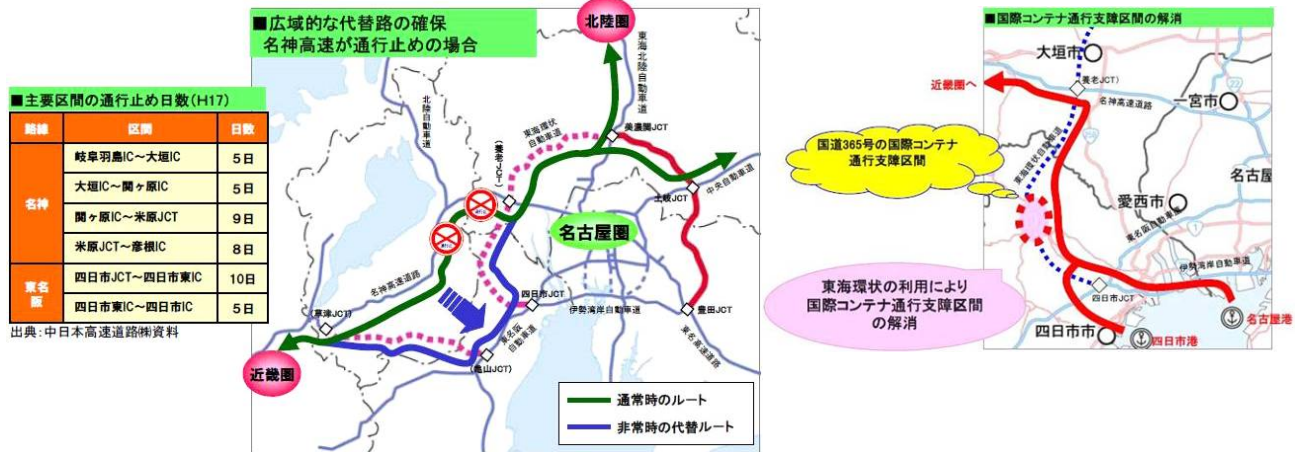
ほくせい

- ・県境～北勢IC間については、地質調査を推進します。

※ JCT・IC名は仮称です。

高速道路ネットワークの形成による 緊急時のリダンダンシー(代替機能)の確保

東海環状自動車道（西回り区間）の整備により、名神高速道路と東名阪自動車道をはじめとした、高速道路相互の代替機能が確保されます。国道 365 号には、国際コンテナ通行支障区間があり、東海環状（北勢～四日市）の整備により、代替機能の向上が期待できます。



安心できる暮らしを確保

東海環状自動車道（西回り区間）の整備により、桑名市多度町から大垣市に立地する高次医療施設への搬送時間が短縮されます。



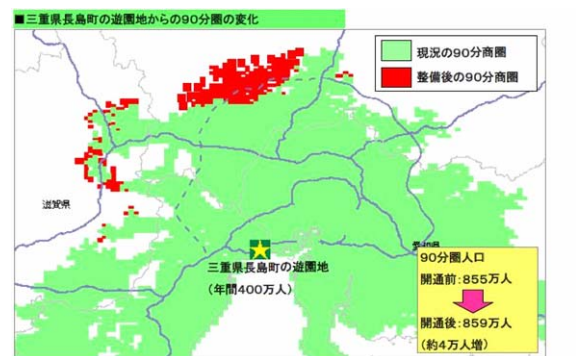
【アンケート・ヒアリング結果】

大垣市民病院は岐阜県であるが、多度町からは近いので国道258号を使って搬送する事がある。東海環状自動車（西回り区間）の整備により、到達が早くなると期待される。

(大垣市消防本部)

沿線の観光拠点との連携強化

・東海環状自動車道（北勢 IC～四日市 JCT）周辺には岐阜県・三重県でも有数の観光施設が集積しています。東海環状自動車道の整備により、沿線周辺施設の 90 分圏人口が増加し、東海環状自動車道を活用した観光周遊圏の形成が期待できます。



位置	名称	年間入込客数 (単位:人)
①	谷汲山華厳寺	878,000
②	岐阜ファミリーパーク	410,825
③	伊奈波神社	1,400,000
④	岐阜公園	879,000
⑤	世界イベント村ぎふ	1,770,438
⑥	長良川花火大会	500,000
⑦	南宮大社	420,148
⑧	養老公園	589,970
⑨	千代保稲荷神社	2,132,110
⑩	千本松原・国営木曽三川公園	1,399,838
⑪	長島温泉	4,485,000
⑫	多度大社	1,269,000
⑬	湯の山温泉	1,204,000

出典：平成17年岐阜県観光レクリエーション動向調査結果

○ 諸元一覧

路 線 名	1 号			2 5 号	2 5 8 号	4 7 5 号		
簡 所 名	ほくせい 北勢バイパス	せき 関バイパス	くわなとう ぶかくふく 桑名東部拡幅	めいはん 名阪道路	だいそう 大桑道路	とうかい 東海環状自動車道（三重県区間）		
								
当 事 務 所 事 業 区 間	み え ぐんかわごえちようみなみふくさき 三重郡川越町 南福崎 よっかいちしうねめ ～四日市市采女	かめやまし たい こう じちよう 亀山市 太岡寺町～ せきちようわしやま 同市関町鷺山	くわなし ながしまちようまた ぎ 桑名市長島町 又木 きたはまちよう ～同市北浜町	たい こう じちよう 亀山市 太岡寺町～ 三重・奈良県境	たどちよう ゆい い 桑名市 多度町 柚井 じょうなんいずみ ～同市城南和泉	岐阜三重県境 ～ ほくせいちよう いなべ市北勢町 きたやまちよう ～四日市市北山町		
	延長21.0km	延長2.5km	延長3.9km	延長41.6km	延長14.1km	延長8.9km	延長14.4km	
	計画延長約28.4km	計画延長約7.1km	—	全線延長73.2km	全線延長41.6km	三重県区間延長23.3km 全線延長L約160km		
構 造 規 格 設 計 速 度	第3種1級 80 km/h (一部60km/h)	第3種2級 60km/h	第4種1級 60km/h	第1種3級 60, 80km/h	第3種2級 (第4種1級) 60km/h	第1種2級 100km/h		
標 準 幅 員	幅員25m 4車線	幅員28m 4車線	幅員30m 4車線	幅員22m 4車線	幅員22m 4車線	幅員23.5m 4車線		
事 業 着 手	平成4年度	昭和49年度 平成8年度(復活) 平成15年度(延伸)	昭和51年度	昭和56年度	昭和40年度	平成10年度 (着工準備) 平成19年度 (着手)	平成2年度	
都市計画決定	平成2年12月25日 平成11年8月17日 (一部変更)	平成8年11月5日	昭和26年6月14日 昭和61年1月31日	昭和39年度	昭和40年12月28日 昭和54年2月6日	平成19年4月24日	平成4年1月21日	
用 地 着 手	平成7年度	平成12年度	昭和63年度	昭和56年度	昭和40年度	未着手	平成5年度	
工 事 着 手	平成11年度	平成14年度	平成15年度	昭和56年度	昭和41年度	未着手	平成9年度	
開 通 区 間	平成15年3月21日 みえぐんかわごえちようみなみふくさき 川越町南福崎 ひらがちよう ～四日市市広永町 (伊勢湾岸自動車道 重複区間) (L=3.6km) 平成22年3月28日 かわきたちよう 四日市市川北町 おおやちちよう ～同市大矢知町 (L=1.6km) よっかいちしう 四日市市羽津 たるさちちよう ～同市垂坂町 (L=0.9km)	平成19年8月23日 おおさか 大阪行きランプ (オンランプ) (L=0.7km) 平成20年3月23日 なごや 名古屋行きランプ (オフランプ) (L=0.7km)	平成19年12月13日 みやまじちよう 宮前町交差点(下り) 右折レーン2車線化	(名阪国道 L=41.6km) 昭和40年12月 全線 暫定2車線開通 昭和55年3月 全線 完成4車供用	～昭和50年度 全線 暫定2車線開通 昭和55年度～平成10 年度 おみふかやぐ 桑名市上深谷部 じょうなんいずみ ～同市城南和泉 完成4車供用 (L=9.4km) 平成22年2月15日 たどちようしものし 桑名市多度町下野代 おみふかやぐ ～同市上深谷部 完成4車供用 (L=1.5km)	未開通		未開通

お問合せ先



夢を広げるみちづくり，ほくほくネットワーク
国土交通省中部地方整備局

北勢国道事務所

〒510-8013 三重県四日市市南富田町4-6

TEL：(059)363-5511（代） FAX：(059)363-5521（代）

〒519-0165 三重県亀山市野村4-3-25（管理課）

TEL：(0595)82-1312（代） FAX：(0595)83-1319（代）

〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町2055（上野維持出張所）

TEL：(0595)21-3011（代） FAX：(0595)21-9742（代）

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>

携帯電話用サイト <https://www2.cbr.mlit.go.jp/hokusei/keitai/>



北勢国道事務所が実施する事業については上記ホームページでもご覧いただけます



道に関する貴重なご意見・提案・相談・情報をお寄せ下さい。

道の相談室 <http://www.cbr.mlit.go.jp/road/soudan/index.htm>

TEL：0120-106-497

E-mail：soudan@cb-its.jp



幹線道路の異状を発見したら・・・

緊急通報 TEL：#9910（24時間受付）